

広報とうかい 人・自然・文化が響き合うまち Tokai

January [No.767]

1・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2009年 [平成21年]

Contents [1月の主な話題]

- 平成21年「新春座談会」(巻頭特集)……………2
「農業の未来を確かなものとするために」
「東海村農業情報発信館」を拠点に、
将来にわたって持続可能な地域農業の確立を
- デマンドタクシー「あいのりくん」の利用時間を30分延長……………10
「あいのりくん」の利用には事前の登録と予約を
- シリーズ「自治基本条例」(連載④)＞総合計画との違いは何か?……………11
- 「東海村まちづくりアンケート調査」の回答はお早めに……………11
- レジ袋の配布中止と廃食用油の回収のご案内……………12
- 所得税などの確定申告は簡単・便利な電子申告(e-Tax)で……………12
- なごみチャンネル⑩＞「なごみ送迎サービス」をご存じですか……………13
- ず〜むあっぷ「まちの風景」……………14
- 国民年金だより＞新成人の皆さん、国民年金への加入を忘れずに……………15
- 青少年育成体験記(PART.100)＞田沢悦子さん……………15
「子どもたちのセンサーと可能性」
- ステーションギャラリー＞「関南沖展」「第21回アートロード展」ほか……………16
- いんふおめーしょん……………17
東海村臨時職員(保育士、幼稚園講師等)募集ほか
- 成人の日インタビュー……………20
[舟石川]助川結香さん(「2009東海村成人の集い」
実行委員会委員長)



平成21年「新春座談会」

■巻頭特集

「農業の未来を 確かなものとするために」



先崎 千尋

まさき・ちひろ

ひたちなか農業協同組合代表理事専務。元・瓜連町長。茨城大学地域総合研究所客員研究員。著書に「農協に明日はあるか」など。昭和17年生まれ、那珂市在住。



村上 達也

むらかみ・たつや

東海村長を3期11年務める。住民が主役の協働のまちづくりに取り組み、住民参加と住民自治、持続可能な「真に豊かな社会」の実現を目指す。昭和18年生まれ、石神内宿在住。



根本 忠生

ねもと・ただお

農業者。干しいもの生産では、その生産履歴の記帳や衛生加工、適正品質表示を実践する三ツ星生産者。野菜の減農薬・減化学肥料栽培にも取り組む。昭和16年生まれ、白方在住。



安 節子

やす・せつこ

農業者。平成19年3月から「東海村農業委員会」委員(村で初めての女性委員)。社団法人ガールスカウト日本連盟茨城県第25団団委員長。昭和19年生まれ、石神外宿在住。

明けましておめでとうございます。

この東海村にお住まいの36600人の皆さんにおかれましては、夢と希望、そして期待を胸に、輝ける新しい年の始まりを、健やかに過ごしてほしいと思います。

さて、東海村広報紙「広報とうかい」では、紙上企画の一つとして、村長と住民が特定のテーマに関し論考する「新春座談会」を主催し、皆さんにお届けしています。

村では現在、「東海村農業情報発信館」(農業支援センター)、ファーマーズマーケットほかの5月開館を目前に、地産地消の推進と、食の安全性を確保するための環境保全型農業の普及、担い手育成支援などに取り組み、将来にわたって持続可能な地域農業の確立を目指しているところです。今年の「広報とうかい」は、「農業をテーマに未来を見据える7人の提唱から始まります。」



須崎 拓志

すぎき・たくし
新規就農者。会社員を辞め、「木の里農園」(常陸太田市)で有機農法を学び、平成18年から農業に従事。石神外宿で野菜の無農薬・無化学肥料栽培に取り組む。昭和51年生まれ、村松在住。



根本 由利子

ねもと・ゆりこ
主婦。二児の母。石神小学校PTA厚生安全委員長。東海村ボランティア連絡協議会運営委員。その他、読み聞かせサークルにも所属し、幅広く活動中。昭和48年生まれ、竹瓦在住。



石澤 通

いしざわ・とおる
東海村経済環境部長。企画財政課長、原子力対策課長などを経て、平成19年7月から現職。平成21年「新春座談会」の司会・進行を担当。昭和23年生まれ、白方在住。

農業は、地域社会が生き残る根源的要素

石澤司会進行 皆さん、明けましておめでとうございます。今日は、役場経済環境部長の石澤と申します。さて、東海村では現在、ひたちなか農業協同組合(JAひたちなか)が村との連携の下、石神内宿地内に県内最大級の農産物直売施設を有する「東海村農業情報発信館」の整備を進めており、本年5月のオープンが予定されているところです。村としては、これを農業振興の二つの契機ととらえ、この施設内に「東海村農業支援センター」を設置し、「地産地消」の推進や担い手の育成支援、環境保全型農業の普及啓発等に積極的に取り組み、将来にわたって持続可能な農業の確立を目指していきたいと考えているところです。とかく農業をめぐるのは、「食」の安全性の問題や絶対的な後継者不足、耕作放棄地の増加など、暗い話題が先行する昨今ですが、今日は、「地産地消」のキーワードとして、本村農業の振興を図る鍵は何なのか、「農業の未来を確かなものとするためには何をテーマに、皆さんからご意見などをいただき、住民の方々にお伝えできればと考えています。どうぞよろしくお願います。それでは、まず最初に村長から、続いて本日の出席者の皆さんから、それぞれのお立場にも触れつつ、自己紹介を兼ねた「あいさつ」を頂きたいと思えます。

村上 明けましておめでとうございます。今日のテーマは農業ということですが、実際、私は農業に携わったことがなく、そういう意味でこの場は聞き手に回るうかと思っておりますが、東海村の農業政策を立てる責任は私にありますので、村政の四本柱の一つに「農業を立てて各種施策を進めてきました。私自身、農業は、もともと人間の生存のための基本的な生業だと思っておりますが、政策に「農業」を立てる発端となったのは、行政視察で宮崎県東諸県郡綾町という所を訪ねたことでした。綾町は、いわゆる有機栽培の「西の横綱」といわれている所で、この綾町視察がきっかけとなって、東海村でも地域循環型の農業を目指していこうという考えに至った次第です。農業には、多面的機能があるといわれています。農業は、われわれ地域社会が生き残っていく、人類が生き残るための根源的な要素だということ。ここ7、8年、その取り組みに努めてきましたが、なかなか思うように進まず、きつかけとなるものがなかったのが現状でした。それが今年、JAひたちなかの「ファーマーズ・マーケット」が東海村に整備され、農業政策の拠点ができるということで、今回の新春座談会のテーマに農業を取り上げたという話が先ほど司会からございました。今日の座談会には、素晴らしい方々にご参加いただきましたので、どうぞよろしくお願います。

先崎 JAひたちなかの先崎です。ファーマーズ・マーケットについては、後ほどご紹介させていただくこととしまして、最初に「農」と「食」が今どうなっているのかを話しますと、農業全体として危機といえますが、危機を通り越して、がけつぷちまできているというのが率直な感じであります。仮に日本が100人の村だったら、100人の食料を3人の農業者が支え、その3人のうち2人は既に65歳以上であるというのが実態です。国は、一昨年には農政転換を行い、強い農業を目指しているところですが、「農業を職業としたのでは食べていけない」という根源的な問題があつて、なかなか結果を出せていないのが現状です。加えて昨年は、農業資材の高騰がありました。物によっては倍近い値段まで上がり、農家にとっては、本当に厳しい状況が続いています。一方、「食」の安全性については、「食」と「農」の距離が懸け離れてしまっています。要するに、その食べ物がどこで作られたのか、どんな加工をされているのかほとんど分からない状況で、生産する側のモラルも低下してきていると――そういう「食」と「農」の距離が根源にあると私は見えています。そこでJAひたちなかでは、農業を取り巻く状況や「食」と「農」の問題が大変危機的な状況にあると考え、一昨年3月に農業振興計画を作りました。この計画の中では、「元気の出る農業、つくり」と、地域に責任を持って食糧を提供していくこと、それがJAの責



務であるとし、地域循環型農業と地産地消の推進に取り組んできました。JAひたちなかは、東海村とひたちなか市、那珂市を管内としますが、その管内の消費者に地元で収穫された農産物を提供する「地産地消」には、直売所や、ファーマーズ・マーケットが必要であり、それから学校給食が基本となるのではと考えています。とりわけ、直売所やファーマーズ・マーケットについては、少なくとも自治体単位に、極端に言えば、自転車で行けるような所に配置して、それらを有機的につないでいこうという構想の下、その中核として、今回のファーマーズ・マーケットを位置付けています。

一人二品を生産、農業は今こそチャンスの時機



根本(忠)

根本忠生と申します。農業を始めて約35年たちますが、初め

は青果物関係を出荷していましたが、しかし、市場がどうも安定しなかったため、行商に切り替え、日立方面を中心に約20年ぐらいたまっています。今回、ファーマーズ・マーケットができるということで、また考え直し、出荷しようかとも考えています。それで周りにいろいろ話を聞いたり、声を掛けて誘ってみたりもしているのですが、そうすると皆さん、「もう年だから…」などという人が多いですね。そこで考えたのですが、一人一品ぐらいたまったら高齢者にもできると、今まで作ってきた農産物の中には、必ず得意なものがあるはずなので、まず一品を作ってお荷することから始めるというのではないかと。そこで売り上げが伸びれば、喜びも生まれるでしょうし、一品よりは二品、三品というようにも考えるようになり、必然的にファーマーズ・マーケットの品ぞろえも豊富になってくると思います。近隣にはかなり直売所もありますから、品ぞろえを確保するには、なるべく一人でも多くの方に作ってもらって、出荷してもらいたいことが必要だと思います。

石澤 ありがとうございます。「得意な一品を作ってみては…」ということ、今回のテーマにおける一つのキーワードを頂いたような気がします。続いて安さん、お願いします。

安 安です。一昨年から東海村農業委員会の委員を務めています。主人の母の農業を手伝いながら米や野菜類を作ってきましたが、その母もある程度年になり、3、4年ぐらい前からは、応任されるようになり、畑作はサツマイモのみにしまして、後は稲作をやっています。農業委員になるまでは、農業委員って何をしているのかな?と見ていました。生産調整のときに見掛ける程度だったものから…。でも、農業委員になってからは少しは考えるようになりました。近年は、東海村も耕作放棄地がすごく増えてきましたし、東海村の農業は今後どうなってしまうのかなと感じることがあります。農業委員会でも、昨年の夏に1か月をかけて耕作放棄地を調べましたので、それを基に政策的なもの、調整とか、健全な農地をどう守っていったらいいのかな?ということを模索しているところで、協議中のものもありますので、遠からず皆さんに発信することができると思っています。それから、今心配しているのが地球温暖化の問題で、農作物への被害も徐々に出てきています。農家は温暖化の被害者であり、一方では、例えば、冬の温室維持に大量のエネルギーを消費するなど、加害者でもあるといえるのかもしれない。これから私たちが解決していかなければならない課題は多いと考えます。

石澤 安さんは、東海村では初めての女性の農業委員であり、男性とはまた違った新しい視点から物を見ることもできるということ、大きな期待を集める方でもあります。続いては、これからの農業を担っていくか、希望の星、須崎さんにお話を伺いたいと思います。

須崎 過分なご紹介を受けました須崎と申します。村内で、年間約50種類の野菜類と米、干しいもなどをす

べて無農薬で作っていると言いますか、安定して生産できるよう努力しているところ、農業は、東海村や茨城県の補助を受けながら始めて4年目になります。それまでは東京の民間企業に勤めていたのですが、一生懸命働いてサラリーを頂いても、そのお金をご飯を買うために使うという、ただ消費するだけの生活に疑問を持ち、そのころ知り合いが北海道の釧路の北にある標津の辺りで酪農のヘルパーをやっていました。そこに2週間ほど遊びに行ったことがありました。そのとき、酪農家の生き方・暮らしに憧れというか、すごく影響を受け、何かを生産、つくり出すという人になりたいと強く思ったのです。それから知り合いづつに、旧里美村の若い有機農家を訪ね、そこで1年間勉強させてもらった後、こちらに来て農業を始めることになりました。

村上 私も、村長になって農業の素晴らしさというものを教えられたという感じです。私は、東海村の出身ですから、昔から農業を見ているのですが、今、須崎さんがお話のように、その生き方、生産する素晴らしさ、苦勞しながら物を作り上げているという過程の素晴らしさ、農業に携わっている方々がいかにしっかりと物の見方をしているかと。私の友達も、東海村で農業をやっていた人がいますが、彼らの生産を追求していく姿には、まさに芸術に通ずるものがあると思いました。

安 農業は、ある意味、創造性、クリエイティブな仕事だと思いませんか。農業者本人に信念がないと、信念を持った生産者でない。例えば、農薬や肥料を無駄に多く使うとか、そういう精神に反する行為があつては困りますからね。

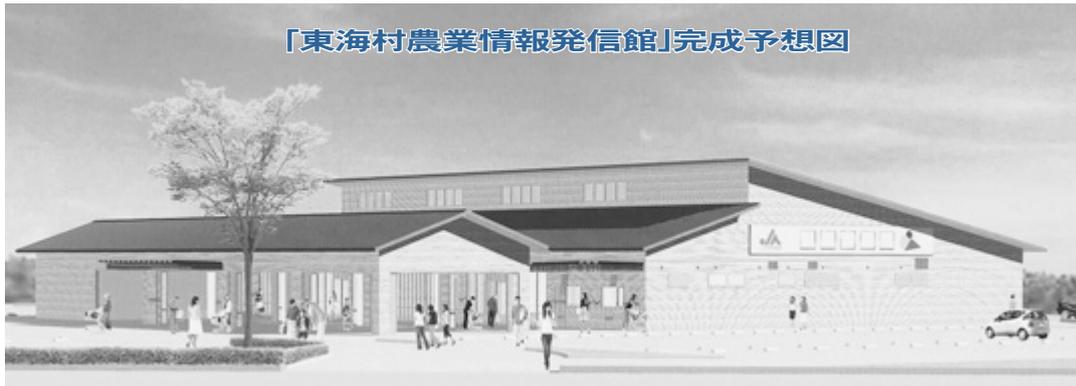
須崎 食の安全志向に伴い、「地産地消」に対する期待も高まっていますからね。僕も農業を始めるに当たっては、家族はもとより、多くの消費者に安心して食べてもらえる物を作ることが大切だと考えました。



根本(由) 根本と申します。宮崎県の出身で、東海村に来てもうすぐ10年になります。今日はお招きありがとうございます。実家はサラリーマン家庭でしたが、周

りが田畑ばかりという所で育ち、こちらの東海村でも主人の母が農業をやってくれているおかげで、これまで野菜を買うという機会が少ない環境の中で暮らしてきました。最近、食の安全が叫ばれるようになって、お店で野菜を買うときなどは注意するようになりましたが、友達の中には、農作物は直売所しか買わないという人もいるくらいなので、今回のファーマーズ・マーケットの話聞き、「あつーこれはいいなー」と思いました。前々から農業がピンチだ...ということに気付いてはいましたが、「今こそチャンスの時機だとも考えています。また、一人の消費者としての私も、自分の子どもというよりは、その子どものまた子どもというように、自分が生きている時間だけを考えるのではなく、ずっと先を見なくてはならないと感じ始めています。まだ遅くはありませんよー農業のこと、食に関すること、気付いたときに本当にチャンスだし、出発点だと思います。そのような意味で、ファーマーズ・マーケットは一つのきっかけになると期待できますし、流通コストの削減などによって、生産者と消費者の双方にメリットがあるシステムのようなので、楽しみにしています。

「東海村農業情報発信館」完成予想図



消費者が望む農産物が店頭

石澤 ファーマーズ・マーケットについては、皆さん大きな期待を寄せているようですので、先崎さんにファーマーズ・マーケットについての解説をお願いしたいと思います。

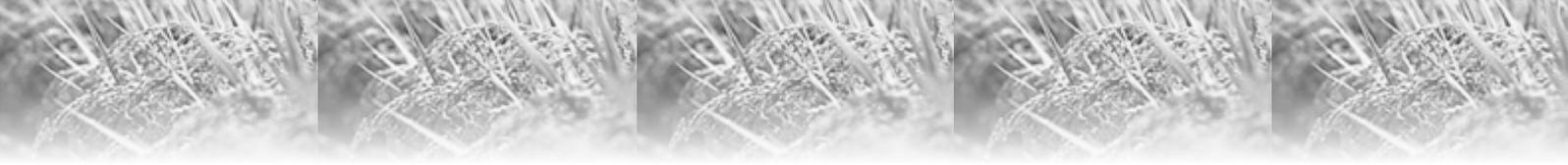
先崎 まず初めに、ファーマーズ・マーケットと直売所は同じではないということをお話しさせていただきます。農家が作った農産物を持って行って売るところが直売所です。一方のファーマーズ・マーケットは、逆に消費者が望む農産物を並べる、消費者が何を望むかということ、店づくり、ひいては作付まで考えて行います。これが決定的な違いです。今、全国各地でファーマーズ・マーケットがつくられています。もちろん直売所もあるのですが、規模からすれば、ファーマーズ・マーケットの方が大きい施設となりますね。昨年の11月28日から工事が始まっており、場所は、県道358号「日立東海線」沿いの石神内宿、「長松院」のすぐ近くです。村内だけでなく、日立市など他地域からの買い物客を見込める場所としました。建物自体の面積は1259平方メートルありますから、かなりの広さとなります。施設は大きく2つに分かれ、いわゆる直販、直売施設などが入った「産地形成促進施設」と、農を通じたイベントなどが開催できる「地域交流促進施設」で構成されます。「産地形成促進施設」の方では、売り場だけではなく、JAひたちなか管内の大豆を

使った豆腐作りを具体化しようとしていて、これは目玉の一つになるのではと思っています。そのほか、敷地面積8667平方メートルの中には、853平方メートルの体験農場も整備します。今年3月20日に竣工予定で、5月中旬の開館を目指しています。私どもJAで考えているのは、ファーマーズ・マーケットは、地産地消の拠点として位置付けられるもので、消費者との共生を推進する施設です。従って、高齢者や主婦などがその気になれば、自分の力量の範囲内で作ったダイコンやニンジン、サツマイモを、1本でも2本でも店頭で並べることができ、決して大きい農家ではなくても出荷できることが大きな特徴です。このようなことができることで、地域経済の発展にもつながっていくでしょうし、総じて自給率の向上にも結び付いていくと考えています。なお、東海村にも、食と農にかかわる文化、食や農にちなんだ伝統行事・伝統食などがあると思いますが、それらをこのファーマーズ・マーケットを軸にして継承する、あるいは新しい物を作っていく、そういう

「東海村農業情報発信館」施設の概要

石神内宿1167番地9	敷地(8,667.00㎡)
平成21年3月完成、同5月に開館の予定	
①産地形成促進施設	
鉄骨造り平屋建て	(975.00㎡)
①東海村農業支援センター	(49.80㎡)
②ファーマーズ・マーケット	売り場(603.00㎡)
③加工処理施設	豆腐工房(77.81㎡)
②地域交流促進施設「JAひたちなか交流ひろば」	
鉄骨造り平屋建て	(284.00㎡)
③体験農場	
	(853.69㎡)

使った豆腐作りを具体化しようとしていて、これは目玉の一つになるのではと思っています。そのほか、敷地面積8667平方メートルの中には、853平方メートルの体験農場も整備します。今年3月20日に竣工予定で、5月中旬の開館を目指しています。私どもJAで考えているのは、ファーマーズ・マーケットは、地産地消の拠点として位置付けられるもので、消費者との共生を推進する施設です。従って、高齢者や主婦などがその気になれば、自分の力量の範囲内で作ったダイコンやニンジン、サツマイモを、1本でも2本でも店頭で並べることができ、決して大きい農家ではなくても出荷できることが大きな特徴です。このようなことができることで、地域経済の発展にもつながっていくでしょうし、総じて自給率の向上にも結び付いていくと考えています。なお、東海村にも、食と農にかかわる文化、食や農にちなんだ伝統行事・伝統食などがあると思いますが、それらをこのファーマーズ・マーケットを軸にして継承する、あるいは新しい物を作っていく、そういう



「東海村農業支援センター」 施設の概要	
所在地	石神内宿1167番地9 「東海村農業情報発信館」(産地形成促進施設)内
設置目的	農業者・就農希望者を支援し、地域農業を支える担い手を育成するとともに、環境保全型農業の普及啓発と“地産地消”を推進することで、農業の振興を図る。
施設内容	事務室、会議室、相談フロア
主な業務	①担い手の育成支援(就農・営農相談等) ②環境保全型農業の普及啓発(栽培実習等の講座や講演会の開催等) ③農業者と消費者の交流促進 ④農地の利用促進(遊休農地情報の提供など) ⑤農機具の貸し出しほか

交流の場として、また何かが発見できる新しい出会いの場として活用していけたらと考えています。とにかく、ファーマーズマーケットへの期待が高いことはあらためて感じましたので、ぜひとも成功させていきたいと考えています。

石澤 村では、ファーマーズマーケットに併設して、「東海村農業支援センター」という施設をつくり、農業に携わる方たちを支援する計画を進めています。村長には、その紹介などをお願いしたいと思っています。

農業支援センターは、農業者支援の窓口

村上 農業支援センターについては、地域農業を振興するための拠点にしようと考えています。そこは、農業が抱える問題を解く糸口が得られる場とします。もちろんすべて解決できるというわけにはいかないと思いますが、糸口がつかめるよう、農業者や就農しようとする方々の支援の窓口にしようとしています。また、そこには、農業に熱い思いを持つ職員をセンター長とし

て配置することを考えています。ファーマーズマーケットには、地域農業振興と、消費者に安全安心でおいしい食材を提供するという2つの大きな目標があります。JAと農業振興のために協働し、この施設を通じて、農業者本人が恩恵を受けられるようにしたいと思います。それには、たくさんの方々に心を入れて作られた農産物を出してもらえようという仕組みづくりが必要だと考えています。その一つとして、農業支援センターでは、栽培実習などを取り入れた農業の勉強会などを実施していることと計画しています。それから、これから就農しようとか、あるいは定年になったのでやろうかという人には、農機具がないのが一般的ですので、農業支援センターには貸し出し用の農機具を備え、お貸ししていることと考えています。

先崎 そうですね——ファーマーズマーケットは、JAの売り上げを伸ばす所ではありません。ただ一応、目標の売上額としては、3年後に6億円という数字を見込んでいます。ちなみに、全国のファーマーズマーケットの状況をご紹介しますと、一番多い所は、和歌山県のJA紀の里、めつけどもん広場で27億円、この近くで言えば、福島県須賀川市にあるJAすかがわ岩瀬のはたけんぼが13億円です。どこでもそうですが、この売り上げのほとんどは生産者に還元されています。仮に、村内で作られた農産物の大部分がファーマーズマーケットで消費できるとすれば、その分の農産物が地元消費者に提供され、生産者の収入にもつながり、どちらにとってもプラスなわけで、経済的に見ても、地域内にもかなりの効果があるだろうと思います。出荷した農産物は近郊にとどまり、金銭もそこで回っていきますし、もちや漬物などの加工までやっていけば、付加価値を付けて循環していくと、その地域の食生活が豊かになり、昔の郷土食とも守れるし、新たに作ることもできるわけですね。



先崎 そうですね——ファーマーズマーケットは、JAの売り上げを伸ばす所ではありません。ただ一応、目標の売上額としては、3年後に6億円という数字を見込んでいます。ちなみに、全国のファーマーズマーケットの状況をご紹介しますと、一番多い所は、和歌山県のJA紀の里、めつけどもん広場で27億円、この近くで言えば、福島県須賀川市にあるJAすかがわ岩瀬のはたけんぼが13億円です。どこでもそうですが、この売り上げのほとんどは生産者に還元されています。仮に、村内で作られた農産物の大部分がファーマーズマーケットで消費できるとすれば、その分の農産物が地元消費者に提供され、生産者の収入にもつながり、どちらにとってもプラスなわけで、経済的に見ても、地域内にもかなりの効果があるだろうと思います。出荷した農産物は近郊にとどまり、金銭もそこで回っていきますし、もちや漬物などの加工までやっていけば、付加価値を付けて循環していくと、その地域の食生活が豊かになり、昔の郷土食とも守れるし、新たに作ることもできるわけですね。

もちろんJAとしても、東海村と一緒に、生産者も消費者もみんなが一緒になって地域振興を図っていくことを第一に考えています。もつと言えば、できれば、JAが村内の耕作放棄地を管理し、新規就農者を含めて作る人を見つけて、「ここ空いているよ」「こんな物を作ってみたら」とか、あるいは「有機か、減農薬で安心して食べられる物を作ったら」とか、そういうことにも新たに組み立てたら、展開できたらと夢を持っています。

村上 先ほどお話ししました宮崎県の綾町は、耕作面積は東海村とほとんど変わらず、水田と畑を合わせて840ヘクタールぐらいです。ところが、農業産出額を見ますと、東海村の場合は、米や干しいもなどを含め、全部で年間20億円なのに対し、綾町は42億円ぐらいと、2倍以上の開きがあるんですね。高品質な有機農業のまちということで榮えています。須崎さんは、どう思われますか。

須崎 僕は、販路として、市場や直売所は利用していませんが、主に村内の一般家庭の方と年間契約させてもらって、毎週いくつとか、隔週でいくつとか、農産物を届けています。そうしますと、流通コストというものは一切掛かりませんし、お客さんと直接やりとりできるということでも、もちろんクレームも受けますが、「おいしかったよ」「良かったよ」とか、そういう言葉を頂けると励みになります。やはり、消費者の皆さんとは直接もしくは近い距離でつながっていることが互いにとても良いことだと思います。

安 農地を持つていても、やはり高齢化してくると維持するのは大変ですので、JAを頼りにしますし、農業支援センターも、そういう機能を持った施設はあまりないと思いますので、根本(忠)さんがお話しになったファーマーズマーケットには「一人一品、得意な物一品を出してください」という指導など、JAを含めてぜひともお願いしたいと思っていますね。

平成21年「新春座談会」



石澤 ファーマーズマーケットでは、出荷する農産物の生産履歴や農薬使用の履歴を明らかにすること、トレーサビリティ^{※3}って言えばいいのでしょか、そういうものをきちんとクリアしないと、店頭には並べられませんよ。

先崎 はい、出荷できません。店頭には並べられません。村上 そのトレーサビリティの方法を教えてください。いいですね。おしいちゃん、おばあちゃんね、自分も出荷できるかと期待できるように。その作り方が分からないから、出荷できないとなつてもね。

石澤 そういう意味では、顔が見える農作物が並べられるというので、食の安全を考えても、消費者としては、ありがたいことですよ。

根本(由) 消費者としては、J A^{※4}って聞くだけで安心していうところがあり、二つのブランドだと思おうのですが、ファーマーズマーケットが成功するには品ぞろえも大切だと思えます。やはり欲しい物がそこにないととなると、客足は遠のいてしまいます。私たち消費者とすれば、東海村で、茨城県で取れた安全な旬の農産物がここにはたくさんそろっていますよとなつて初めて行つてみようかという気になりますし、特に子どもがいると、買い物は1か所で済ませたいものです。

品ぞろえは、「今日と明日が違う」

先崎 ファーマーズマーケットの特徴の一つは、「今日と明日が違う」ということです。スーパーやコンビニにはない品ぞろえが展開できます。なぜなら、たくさん生産者がいて、それぞれ違うからです。品ぞろえは、行つてみないと分かりません。一方の生産者だつて考えます。これを出荷すれば売れる、喜ばれると、軌道に乗れば、当然出てくる考えです。東海村の生産者だけでは足りませんので、そういう意味でJ Aでは、津田や長砂、那珂などの直売所の農産物を融通し合うシス

テムをつくりたいと考えています。生産者からすれば、例えば、私は今日キウウイ30袋を持って行つたけど、午前十時の時点でいくつ売れているのか、携帯電話などで見られるようにしてあげるので。そうすれば、売れ行きがいいから追加しようとか、今日は余つたから明日の出荷は少し減らそうとか、生産者が自ら判断できるデータを提供し、多彩かつ十分な品ぞろえを確保していければと思つています。なお、この地域では生産できない特産物のコーナーをつくることも考えています。全国のJ Aから、例えば、須賀川市のはたけんぼ^{※5}には、J Aひたちなかなか干しいもが提供されているように、青森県からリンゴ、山形県の東根市からは特産のサクランボ、千葉県からは落花生、静岡県からお茶、沖縄県から黒砂糖というように仕入れた特産物を並べることも考えています。

石澤 ちよつとしたお楽しみコーナーですかね。ファーマーズマーケットの目的は「地産地消で、地元の物を、中間コストを省いて、良い農産物を安く売ることができることが目玉でしょうから」。

先崎 中間コストに関連して、一般的な流通のことをお話ししますと、市場出荷の場合は、例えば、生産者が100円とした物が消費者に届けられるときには、その2倍にもなつてしまいますが、同じ物がファーマーズマーケットで販売された場合はというと、それは115円で売られます。私どもJ Aも無償ではできませんから、手数料は頂きますけども、それでも消費者からすれば、コストメリットがあるし、鮮度も良いということ、特に食の安全が注目されるようになってからは、ファーマーズマーケットや直売所は、どこも売り上げを伸ばしていますね。

石澤 販売価格としては、外国産の安い農産物と比較していかがですか。

先崎 例えば中国の野菜。最近減つていますが、上海周辺が野菜地帯なのです。そこから店頭には並ぶまでに

は、大体1週間程度かかります。鮮度まで考慮すれば、違いは明らかですし、値段だけ見ても、海外産は決して安くはないと思えますがね。

安 食糧を海外から輸入すると、少なからず輸送費も掛かりますし、フードマイレージ^{※4}の視点に立つて見ようになれば、地球温暖化など環境への影響が心配されますからね。

根本(由) 二酸化炭素(CO₂)などの温室効果ガスの排出量を考慮するとなると、環境負荷の低減になつていないことは明らかですし。

石澤 フードマイレージまで考慮してもメリットが見いだせる素晴らしいファーマーズマーケットを成功させていくための手法として、その他アイデアなどありましたら、遠慮なくお話しいただければと思います。



安 先ほど村長が話された、農業についての勉強会を開いていくというのは必要だと思えます。耕作のポイントといいますが、かつて培われた伝統的なものほど途絶えてしまつていきますから、それを復活しないと、作り方さえ分からぬものもあると思うのです。加えて、たい肥や新しい農薬の使い方とか、減農薬の方法など、これから就農しようとする若い方はもちろんでしょうが、帰農している人でさえ分からないところもあるでしょうから、その勉強会、指導というのは、大切なことだと思えます。

根本(忠) 品ぞろえを確保するためには、種まきの時期などを考慮した生産計画も大切だと思います。

須崎 そうですね。出荷した農産物が売れるとなれば、生産者は頑張るといふのはもちろんのことです。売るためにはお客さんに来てもらわなくては行けないし、需要と供給のバランスを保てること、ファーマーズマーケットでは生産側と消費側の交流が売りにできれどと思えます。私と取り引きしているお客さんとか、同じ食材でもメニューがどんどん増えていっています

【フードマイレージ】^{※4} 農産物の生産地から消費地までの距離に着目し、輸送エネルギーとして掛かる環境負荷を目に見える形で表した指標の一つ。食糧の輸送量と輸送距離を乗じて算出し、食糧供給の実態と食糧輸送が環境に与える負荷の度合いを「トン・キロメートル」という単位で表す。

が、主婦の皆さんを中心に、調理やおいしい食べ方の講習会など開催できればと考えます。

安 例えは、ネギは濡れ新聞でくるんで立てておくとか、土に埋めておくとかの保存方法なども含めてね。

根本由 レシピとか、売り場に置くのも二つの工夫がもしれませぬね。

根本忠 私が行商しているときは、そのレシピを作った配ったものです。例えばニンニクね、あのガーリックレシピっていうものは40種類もあるのです。ニンニクは高いし、刺し身に付けるぐらいで、あまり思い付かないですからね。大変喜ばれたものです。

安 ニンニクといえば、熱を通すだけで臭いにおいが取れ、やわらかくおいしく食べられますからね——。

根本由 そう、料理には、母の秘伝の味“おふくろの味”みたいな、習っていない、教わっていない方法もありますからね。今はインターネットのウェブサイトを見れば、あらゆる食材のレシピがたくさん紹介されていますが、やはりそういうものは、人とのコミュニケーションを通して覚えていきたいものですね。

先崎 長砂の直売所では、生産者が自分でレシピを書いている、その農産物の脇に留めておく人もいますし、農産物の近くに付きつきりて一生懸命な人もいますよ。

石澤 生産者もいろいろ工夫されていますよね——。先ほどの先崎さんのお話の中でも出てきましたはたけんぼへは私も行ったことがありますし、生産者の方に直接話を伺ったことがあるのですが、その方の場合は、ほかの生産者とは出荷時期を少し変えることで、消費者に喜んで買っていたらいいなというところでした。

先崎 工夫が売り上げに結び付きますからね。長砂の直売所では、漬物だけで年間1000万円以上売っている方がいます。

根本由 そうですか！ でも、その方の漬けた物がおいしいと分かれば、みんな買いに行き、主婦同士の間でも広がりますし——。

批判は提案への切り替えを——

石澤 さて、話題も尽きることなく、いつの間にか予定の時間が過ぎてしまいました。そろそろ、まとめに入りたいと思いますが、今日の座談会を通して感じられたこと、言い残されたことなど、最後に一言お話しただき、村長にまとめていただこうと思います。それでは根本さんからお願います。

根本忠 はい。今日はありがとうございました。この話は、農業支援策になるのでしょうか。サツマイモを作る際にマルチフィルムというものを使いますが、高齢化してくると、それをはがす作業がまた大変になってくるのです。そこで、試験的に、はがさなくてもよい、地中のバクテリアで自然分解される生分解性マルチフィルムを使ってみました。これを使うと、はがす手間が省けますし、除草剤は少なくて済み、環境にも優しいというメリットがあります。ただ難点もあって、買う場合の値段が高いという問題があります。

村上 マルチフィルムのこれからのあり方というのは考えるべきなのかもしれませんね。農業の振興と環境問題、高齢化の問題から考えてもですね。まさに除草剤は少なくて済むし、ビニールを焼却処理したときのダイオキシン発生の問題も心配されるわけだし、これは行政としての検討課題の一つですね。

根本由 今日は、素晴らしい話を聞かせていただき、ありがとうございます。ファーマーズマーケットのオープンを大変楽しみにしていますし、特に子どもたちには、新鮮な農産物を食べさせたいと思っています。今、私の子どもが通う石神小学校では、ボランティアの方々のご協力の下、ミニトマトを育てたりとか、芋がらを取ってきたりとか、土に触れる体験をたくさんさせてもらい、感謝するばかりです。そこで、このファーマーズマーケットの「体験農場」にも、子どもたちが土に触れることを体験できる場があったらと思います。

なぜなら、未来は子どもたちに託すしかありませんし、その子どもたちにも、しっかりと農業の大切さを伝えていけたらと思うのです。

先崎 今、学校給食も含めてですが、食農教育研究会というものをつくって、行政として、学校としてどう取り組むのか、教育委員会の方々とJAなどが一体となって検討を進めていますので、その成果が出るまでには、もうしばらくの時間をいただきたいと思っています。

須崎 今日はありがとうございました。まず、東海村の行政の四本柱に「農業」が入っているというのは、本当に素晴らしいことだなと思いましたし、そういう僕も、東海村などからの補助があったことで大変助かりました。村の方には、継続してその新規就農者、初めは農地もない、資金もないという僕みたいな人間でも、何とか農業を始めていけるという、そういうなお二層の基盤づくりをお願いしたいと思っています。それから、「地産地消」とか、フードマイレージとか、いろいろ言われていますが、人間に必要な衣食住の中では、「食」、またそれにつながる「農」は一番大事だと思いますので、海外とか遠くで収穫された農産物に依存することなく、地元のを地元で消費するという「地産地消」が広く浸透・普及していくてくれればと思います。

安 ありがとうございます。東海村農業委員の一人として、農業振興を図っていかなくてはならないと思いましたが、「食」は安全保障だともいわれていますし、今ある農地を健全に保全していくことが喫緊の課題じゃないかなと思います。東海村には幸い、農業支援センターやファーマーズマーケットができますので、解決に向けた方法や手法が用意されているのだと思います。農業委員会でも、これからの農業をどうしていくか、検討を進めているところですので、今後ともよろしくお願います。

村上 いわゆる政府の、農地保有の規制緩和、株式会社社にも農地を持たせて結構ですよという、その改正が

されるということですが、それは非常に危険なことです。まさに市場原理主義ですよね。農地まで市場原理主義に手渡すのかということになりますよね。私は危ない話だと考えます。

安 農地というものは、すぐには作り出すことができずるものではありません。貴重なものです。農地を持っている方には、農地は活用できるように保全していただくべきと、あらためてお伝えしたいですね。

先崎 今日はありがとうございました。限られた時間ではありましたが、皆さんのファーマーズマーケットへの思いが伝わってきたように感じています。ファーマーズマーケットは、JAに、行政にお任せというだけでは成功しません。生産者と消費者の交流の場として、みんなでつくり上げていく店、自分たちの店という思い・意識をそれぞれ持っていたとき、その上で役割分担して、JAの役割はこうです、行政はこうです、私たちはこうしますという連携プレーがなければ成功しないと考えています。そのことへの理解と協力を最後にお願しておきたいと思えます。



村上 ありがとうございます。社全体を見ますと、今年は大変厳しい年になると思っております。世界的な金融・経済恐慌ということで、先行きが見えないと、多くの方が非常に不安に思う年となるのではないかと。そして農業についても、国レベルでの農業政策も足腰が定まらないと言いますが、初めに先崎さんから「農業はがけつぶちに立っている」という話がありましたが、そんな大変な時代で決して明るくはないのですが、それでも今日、皆さんの話を聞いて、「東海村は明るいな...」と思いました。それは、ファーマーズマーケットが東海村に整備されるということが大きな要因だと思いますし、村としても、農業支援センターを通して、一つの農業政策、地域農業の方向性が定まってくっていくのではという期

待が持てるからです。東海村では昨年12月、原子力機構(JAEA)と高エネルギー加速器研究機構(KEK)の共同による「大強度陽子加速器施設(J-PARC)が第一次稼動しました。最先端科学研究所の村ということで、これを第二の夜明けだと言ってきましたが、最先端科学だからといって人類の生存と懸け離れては困ると、その基礎は農業なんだと。農業と共存できないような科学なんてあり得ないと言いますか、そんなものであってはならないときました。もう一度、農業を見直す時機として、今日の話は非常に素晴らしかったと思います。根本由利子さんからは、どうも農業がチャンスだという話がありました。消費者の代表としての話としては、農業に対する期待というような意味でも、勇気づけられる言葉を頂きました。先崎さんがお話しのように、ファーマーズマーケットは、地域農業の振興のためにも、みんなでつくり上げて盛り立てていかなければなりません。批判ばかりしていても仕方ありませんし、やはり批判は提案という形への切り替えも必要だと思えます。当然、最初にやりますので、何もかも満足いくようなことはできないのかもしれませんが、生産者の皆さん、消費者の皆さん、JA、そして行政と、みんなが育っていくという点で一致していきたいと考えます。暗い世の中、新しい年の暗い始まりにあっても、われわれ東海村は、足元きつちりと、大地に足を着けて、飛び立っていきたいと思えます。今日はありがとうございます。

石澤 中国には、近くの人が喜べば、遠くの人もやってくるという言葉があるそうですが、ファーマーズマーケットも...と期待したいと思えます。今日の皆さんからのご意見ご提案は、これからの本村農業の振興に大いに生かしていきたいと考えています。以上で、平成21年「新春座談会」を終了させていただきます。長時間のお付き合い、ありがとうございます。

全員 ありがとうございます。

今年も、「広報とうかい」をお楽しみください



デマンドタクシー「あいのりくん」2月2日から 試行的に運行時間を午後4時30分まで延長

東海村デマンドタクシー「あいのりくん」は平成17年12月の運行開始から3年が経過し、一日の平均延べ利用者数は運行開始当初の76人(平成17年度平均)から161人(平成20年度平均)と増え、多くの方が利用しています。その間、利用者の増加に伴って、予約のための電話回線の増設や運行台数の増車など、より利用しやすい交通システムとなるよう改善を図ってきました。

このように「あいのりくん」は、利用者の皆さんから交通手段の一つとして好評の一方、村議会や「東海村デマンド交通運行委員会」などを通して、一層の運行時間延長などのご意見も出されていることを踏まえ、昨年10月に、無作為で抽出した利用者300人を対象に、「デマンドタクシーの利用に関するアンケート調査」を実施したところです。その結果、時間延長を行った場合に「利用する」と回答した方が回答者全体の約8割を占めた



ことから、現在は午前8時から午後4時出発までとなっている運行時間を試行的に延長し、2月2日(月)から午後4時30分出発を新たに設けます。なお、ご利用の少なかった午後零時30分出発の便を減らします。

- **開始日** 2月2日(月)
- **増 便** 午後4時30分出発
便2台(月曜日～金曜日)
- **減 便** 午後零時30分出発
便2台(月曜日～金曜日)

「あいのりくん」の利用には事前の登録と予約が必要です

■ **利用日** 毎週月曜日～土曜日
※祝日と12月29日から1月3日までは運休となります。

■ **利用時間** 午前8時～午後4時
※2月2日からは、月曜日から金曜日まで午前8時～午後4時30分となります。

時刻表	
8:00	12:30
8:30	13:00
9:00	13:30
9:30	14:00
10:00	14:30
10:30	15:00
11:00	15:30
11:30	16:00
12:00	16:30

■ **利用料金** 200円/回(3歳未満の方は無料)

■ **事前登録** デマンドタクシーの利用を希望する方(3歳未満の方も含む)は、「東海村デマンドタクシー利用登録票」に必要事項を記入の上、役場(政策推進課、社会福祉課、介護福祉課、社会福祉協議会、ボランティア市民活動センター「えがお」のいずれかへ申し込みください。登録用紙は、各申込場所や各コミュニケーションセンター等にあります。登録した方には、利用案内や登録証を郵送します。

■ **予約の受け付け開始** 利用日の2日前から利用予約を受け付けます(車イスご利用の方は1週間前から受け付けます)。ご利用の予定が決まりましたら、お早めの予約にご協力ください。

■ **予約の受付時間** 午前7時15分から午後3時30分まで(2月2日からは午後4時まで)。利用予定時刻の30分前までに申し込みください。

■ **申し込み** 東海村デマンドタクシー情報センター(☎306局2828 FAX287局1919)へ電話またはファクシミリで申し込みください。申し込みの際は①氏名②利用日③時刻(時刻表を参照)④乗車場所⑤目的地——をはっきりと伝えてください。なお、予約内容をメモしていただくなど、お間違えのないようお願いいたします。

■ **予約のキャンセル** 予約をキャンセルする場合は、利用予定時間の30分前までにお願います。

■ **その他** 「あいのりくん」は乗り合いタクシーです。細かい時間の指定はできませんので、時間に余裕をもってご利用ください。

■ **問合せ** 企画政策部政策推進課企画調整担当(☎282局1711 内線1335)

住民が主役のまちづくりのルール 自治基本条例

連載 4



経営運営の理念や仕組みなどを定めるものです。つまり、総合計画の基本構想で描く村の将来像を、村民議会・行政が協力して実現していくためのルールが「自治基本条例」であり、そのルールに基づいて村の具体的な施策が定められていくことになるのです。例えば、車で旅行をする場合のカーナビが「総合計画」、交通ルールが「自治基本条例」とも考えられます。

「東海村自治基本条例策定委員会」(住民等19人が参加)により策定作業が進められている「自治基本条例」——シリーズ4回目となる今回は、「総合計画と自治基本条例は何が違うのか?」についてお話しします。

「総合計画は、地方自治法に基づき議会の議決を必要とする村の基本構想や、毎年度の予算の先導的な役割を果たす実施計画で構成されています。「自治基本条例」と「総合計画は、まちづくりの基本的な方向性を定めることや、議会の議決を経るといった観点では、共通したものであるといえます。しかし、「総合計画」は、村の最上位の計画として、福祉、教育、環境、農業、都市計画などといった各分野における政策の基本方針や目標、それを実現するための施策の方向を定めるものです。」

一方、「自治基本条例」は、村の高規範として、自治の基本原則、村民議会・行政それぞれの役割、意見公募手続き(パブリックコメント)や情報公開、住民参加などの村政

村では、1月15日(木)から昨年9月1日からの1か月間に皆さんから寄せられた自治基本条例(素案)に関するパブリックコメント(約260件)に対する「条例策定委員会」としての考え方と、それを基に策定した自治基本条例の素案を、東海村公式ホームページのほか、村立図書館や中央公民館、各コミュニティセンターの窓口にも備え、公開を予定しています。皆さん、ぜひご覧になってみてください。なお、議会の議決後、「東海村自治基本条例(ダイジェスト版)」を作成し、全戸配布を予定しています。**問合せ** 総務部自治推進課自治推進担当 ☎282局17711 内線1341

まちづくりアンケート調査へのご協力ありがとうございました

村では、平成20年12月3日の第1回「東海村総合計画審議会」を皮切りに、平成23年度から向こう10年間の新たな計画となる「東海村第5次総合計画」の策定を開始しました。

この総合計画の策定に当たり、昨年12月にお願ひした「東海村まちづくりアンケート」は、住民の皆さんのさまざまな生活ニーズや、まちづくりに対する考え方などを把握するため、必要な調査をさせていただいたものです。ご回答いただいた皆さん、調査へのご協力ありがとうございました。

なお、アンケート用紙をまだ返送していない場合は、回答期限を過ぎても受け付けますので、お早めのご回答にご協力をお願いします。



■調査対象 平成20年11月末現在で村内在住の男女各750人ずつ(無作為抽出・無記名方式)

■回答期限 1月10日(土)

■問合せ 企画政策部政策推進課政策推進担当 ☎282-1711 内線1332

傍聴席

平成20年第4回東海村議会定例会が12月1日から15日までの会期で行われました。その主な内容は次のとおりで、会期中の傍聴者は85人でした。

村長提出議案

条例改正案、東海村医療福祉費支給に関する条例の一部を改正する(医療費助成対象年齢を中学校卒業までとする)条例ほか5件、補正予算関係8件、指定管理者の指定(東海村総合福祉センター「絆」)についてほか6件の合計21件が上程され、すべて可決されました。

請願

①「ミニマムアクセス米の輸入停止を求める請願」は不採択となりました。②「燃料、肥料、飼料、農業資材等の価格高騰に対する緊急対策を求める請願」は採択されました。③「教育予算の拡充を求める請願」は採択されました。

議会提出議案

議員提出議案の「地デジ放送の受信対策の推進を求める意見書」と「中小企業底上げ対策の一層強化を求める意見書」、委員会提出議案の採択された請願②・③に対する意見書2件の計4件は可決され、国の関係機関に提出しました。

問合せ

議会事務局 ☎282-1711 内線1281 ※議会ホームページ(<http://www.vill.tokai.ibaraki.jp/gikai/>)では、第4回定例会の審議が映像(録画)でご覧になれます。



お買い物の際は、マイバッグを持参し、みんなでレジ袋の使用を減らそう！
平成21年3月1日(日)から

村内6店舗でレジ袋の配布を中止

3月1日(日)から、村内6店舗で、レジ袋の配布が中止されます。

これは、レジ袋の使用削減による環境への影響・負荷低減に貢献しようとするものです。皆さんのご理解とご協力をお願いします。

レジ袋の配布中止が始まる日

平成21年3月1日(日)から

⑥ Yショップ(ヤマザキショップ)
二軒茶屋店(☎282局2774)

※各店舗でお買い物の際、レジ袋が必要な方には1枚2円〜5円(サイズによる)で販売されます。

なお、各店舗でのレジ袋販売による収益は、環境保全活動等の社会貢献に役立てられます。

●問合せ 経済環境部環境政策課環境計画推進室(☎282局1711 内線1454) ※詳しくは、「広報とうかい」(平成20年12月10日号)をご覧ください。

① イオンリテール(株)ジャスコ東海店(☎287局3311)

② ㈱カスミ舟石川店(☎283局4111)

③ ㈱黒田青果ステーションコム東海店(☎270局5571)

④ ㈱セイブ東海店(☎283局2337)

⑤ Yショップ(ヤマザキショップ) 須藤(☎282局3979)

廃食用油をご提供ください

村では、ご家庭や公共施設などで使用済みとなった天ぷら油などの食用油(廃食用油)を回収し、村の公用車(ディーゼル自動車)の燃料として活用しています。皆さんからのご提供をお願いします。

■提供方法 使用済みの植物性の食用油を、おおむね500ミリリットル以下のプラスチック製容器(ペットボトル等)に入れ、ふたをしっかりと閉めて回収場所へお出してください。

■回収場所 村内各コミュニティセンターまたは「リサイクルプラザとうかい」(清掃センター内)の専用回収ボックスへ容器(ペットボトル等)ごと投入してください。

■回収時間 各休館日を除く午前9時から午後4時まで。

■問合せ 経済環境部環境政策課環境計画推進室(☎282-1711 内線1453)

確定申告は簡単・便利なe-Taxで ～太田税務署からのお知らせ～

太田税務署から、平成20年の所得税などの確定申告期間と納付期限、振り替え納税利用者の振り替え日等をお知らせします。

税目	確定申告期間	納付期限	振り替え納税(引き落とし日)
所得税	2月16日(月)～3月16日(月)	3月16日(月)	4月22日(水)
贈与税	2月2日(月)～3月16日(月)		—
消費税および地方消費税	1月5日(月)～3月31日(火)	3月31日(火)	4月27日(月)

毎年、申告期限間近になると、税務署の窓口は大変混雑します。申告書はご自分で作成し、太田税務署(〒313-8686 常陸太田市金井町3662番地)あてに郵送するか、電子申告(e-Tax)によるご提出にご協力ください。

●問合せ 太田税務署(☎0294-72-2171)

※電子申告(e-Tax)を利用するためには事前準備が必要です。詳しくは、e-Taxホームページ(<http://www.e-tax.nta.go.jp/>)をご覧ください。

「償却資産」の申告期限は2月2日(月)

「償却資産」とは、会社や個人で事業を営む方が専らその事業に用いている機械・器具・備品等のことで、固定資産税の対象となるものです。村では、平成20年度分を申告された方などへのご案内を昨年12月10日前後に郵送により行いましたので、お忘れなく申告されるようお願いいたします。

また、申告が必要な事業者で申告書をお持ちでない場合は、総務部税務課資産税担当へお問い合わせください。

●業種別「償却資産」の例

業種	申告の対象となる物
小売業	陳列ケース、冷蔵庫、冷蔵ストッカーなど
飲食業	レジスター、冷蔵庫、調理場設備など
理・美容業	理・美容業いす、タオル蒸し器、サインポールなど
クリーニング業	洗濯機、脱水機、プレス機など
医療・薬局業	ベッド、手術機器、調剤機器など
各業種共通	パソコン、ファクシミリ、レジスター、タイムレコーダー、看板など

●問合せ 総務部税務課資産税担当(☎282-1711 内線1113)

なごみチャンネル

なごみ・総合支援センターの活動をシリーズで紹介する「なごみチャンネル」。シリーズ11回目の今回は、「なごみ送迎サービス」についてご紹介します。

「なごみ送迎サービス」をご存じですか

皆さんは「なごみ送迎サービス」をご存じですか？ 白い車体にかわいい小鳥のイラストが入ったワゴン車を見掛けたことはありませんか？ 「なごみ送迎サービス」では3つの送迎サービスを展開しています。

- ① なごみ・総合支援センターで実施する「高齢者通所型介護予防支援事業」参加者への送迎サービス
- ② なごみ・総合支援センターで実施の「障害者等日中一時支援事業」を利用し、村内小中学校に通学している児童・生徒への送迎サービス
- ③ 保健・医療・福祉の3拠点（施設、なごみ・総合支援センターと村立東海病院、総合福祉センター「絆」）を結ぶ巡回型送迎サービス



③の巡回型送迎サービスは、誰もが利用できる料金無料のサービスです。月曜日から金曜日まで（祝日を除く）の午前10時30分〜午後2時30分、おむね30分間隔で運行しています。「なごみ」や「絆」で実施しているイベントへの参加や、「絆」の食堂、「なごみ」の喫茶コーナー「響」のご利用、東海病院へかかる際など、「なごみ送迎サービス」をご利用ください。

▼問合せ なごみ・総合支援センター（福祉部介護福祉課地域支援室 ☎287局2525）

便名	なごみ	東海病院	絆
10:30便	10:30発	10:40発	10:50発
11:00便	11:00発	11:10発	11:20発
11:30便	11:30発	11:40発	11:50発
12:00便	12:00発	12:10発	12:20発
12:30便	12:30発	12:40発	12:50発
13:00便	13:00発	13:10発	13:20発
13:30便	13:30発	13:40発	13:50発
14:00便	14:00発	14:10発	14:20発

おむつ代に係る医療費控除について

おむつ代の医療費控除を受けるためには、おむつ代の領収書のほかに医師が発行した「おむつ使用証明書」の添付が必要となります。ただし、要介護認定を受けている方については、「おむつ使用証明書」の代わりに、村が発行する「おむつ代に係る医療費控除証明書」を添付することで医療費控除を受けることができます。

●対象者 おむつ代の医療費控除を受けることが2年目以降で、要介護認定の際の主治医意見書により①寝たきり状態②尿失禁の可能性がある——のどちらも確認できる方

●申し込み・問合せ 福祉部介護福祉課介護保険担当 ☎282局1711 内線1164

要介護認定者の障害者控除について

身体障害者手帳をお持ちでない高齢者でも、村発行の「障害者控除対象者認定書」を確定申告の際に添付することで、障害者控除を受けることができます。認定書の交付についてはお問い合わせください。

●対象者 介護保険の要介護認定を受けている65歳以上の方で、▼認知症により常時または外出時に介護を要する▼6か月以上寝たきり状態▼日常生活に支障がある▼寝たきり状態▼毎日で寝込みがち▼歩行・起居動作が不自由で外出が困難▼外出は可能だが身体的介護を要する——のいずれかに該当する方

●その他 要介護認定の際の主治医意見書で精神や身体の状態を確認します。

●申し込み・問合せ 福祉部介護福祉課介護保険担当 ☎282局1711 内線1164

おしゃれ用カラーコンタクトレンズを使用している皆さんへ

おしゃれ用コンタクトレンズは、医療用のコンタクトレンズとして取り扱われていないことから、使用方法等の説明を受けずに不適切に使用したことなどにより、角膜炎、結膜炎、角膜上皮びらん等の健康被害を生じた事例が数多く報告されています。

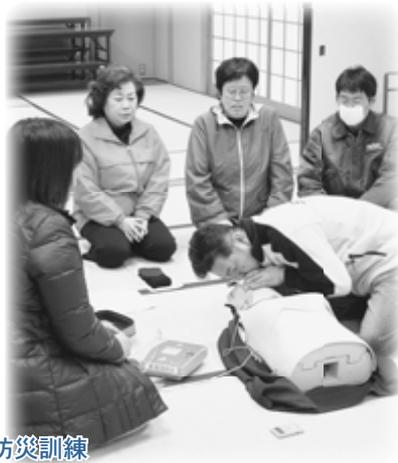
■注意点 ①使用に当たっては、事前に眼科医の検診・指導を受けましょう。②適切な装着時間を守りましょう。長時間の装着は障害の原因となります。③使用方法を守り、適切なメンテナンスを行いましょう。④少しでも異常を感じたら、すぐに眼科医の診察を受けましょう。⑤暗い場所では見えにくくなるがあるので、夜間の運転等には注意しましょう。

■問合せ ひたちなか保健所 ☎265-5515 ※国では、カラーコンタクトレンズを医療機器として規制する検討が始まっています。

ず〜むあつぱ 「まちの風景」



第3回防災訓練



●“地域の安全をみんなで作ろう”

真崎地区委員会「安全・安心部会」では、地域の安全をみんなで作ろうと、12月17日に交通事故防止や防犯を目的に、地元住民60人が地区内を3コースに分け巡回パトロール。また同20日には、村消防本部との共催による第3回防災訓練を行いました。訓練には、災害時の対処法を身に付けようと、地元住民など150人が集まり、関東大震災を例にしたスライド上映やAED(自動体外式除細動器)の講習を受け、いざというときの行動を再確認。17日のパトロールと併せ、地域住民のつながりを強めることで安全で安心して暮らせる地域、「自助・共助・公助」の精神で、事故・災害に対処できる地域をつくる取り組みが行われました。



巡回パトロール



(写真左から) 前々会長の小川志つ江さん、前会長の今橋絹枝さん、村上村長、会長の本多真知子さん、副会長の飛田公子さん、山村サツさん

●住民の健康づくりの一翼を担う“食推”に厚生労働大臣賞

10月23日、第39回「全国食生活改善推進員団体連絡協議会大会」が高知県高知市で開催され、「東海村食生活改善推進員連絡協議会」(会長・本多真知子さん)が厚生労働大臣賞を受賞しました。幅広い年齢層の住民を対象とした生活習慣病予防の調理実習や親子料理教室など、地域の健康づくりに寄与するため、35年間にわたり食生活改善の普及・啓発に貢献してきた“食推”。「家庭や地域の方の健康に少しでも役に立てればと続けてきました」と今までを振り返ってくれました。受賞おめでとうございます。

●アメリカは「幼」「私」、日本は「老」「公」のボランティア

12月12日、社会福祉協議会主催による第3回「東海村ボランティア市民活動セミナー」が東海文化センターで開催され、タレントのダニエル・カールさんによる講演「日米ボランティア比較」が行われました。ダニエルさんによれば、アメリカのボランティアは「幼いころから“寄付すること”が身に付いている人が多い」「中学生などは車を洗ってお金を稼ぎ、個人で寄付する」。日本はボランティア団体に入り、公のために尽くす活動が多く、高齢者が多い」とし、日米のボランティアに年齢や形態の違いがあることを講話。日本での生活を通して感じた文化の違いをおなじみの山形弁でユーモアを交えながら話してくれました。



セミナーの中で発表された「えがお」のマスコットキャラクター「にこっぴ」(佐藤真利さん(村松在住)考案)。407点の中から選ばれました。

国民年金 新成人の皆さん、忘れずに 国民年金の加入手続きを だより

国民年金加入の義務と権利

国民年金は、老後の所得保障だけでなく、病気やけがで重い障害が残ったりしたときなどにも支給される、人生の思いがけない方が「を」をサポートする公的年金制度です。国民年金には、国内に住む20歳から60歳までのすべての方が加入して保険料を納付する義務があり、国が責任ある運営を行っていくことで、その加入者の皆さんには将来に年金を受け取る権利があるのです。

国民年金加入の手続き

学生や自営業者などの第1号被保険者となる方は、お住まいの市町村役場で、手続きを取ってください。サフリーマンや公務員の第2号被保険者の方や、第2号被保険者に扶養されている配偶者の第3号被保険者の方は、勤務先の事業所が加入手続きを行いますので、個別の手続きは必要ありません。

国民年金保険料の猶予

所得がない学生の方が国民年金保険料を納付できない場合は、申請により保険料の納付が猶予とならない場合があります。この制度は、学生ご本人の申請により保険料の納付が猶予されるもので、将来、国民年金や障害年金を受け取ることができなくなることを防止するための制度です。この申請を行わず、国民年金滞納保険料が未納となつてしまうと、方が「の」ときに障害年金が受け取れないなどの思わぬ事態を招くことがありますので、「ご注意ください」。

問合せ 福祉部保健年金課国民年金担当

☎ 282局 1711 内線 1133

指導者からのメッセージ

少年育成 月体験記 PART. 100

「劇団とみかる」の団員と活動する
今回のエッセイスト、田沢悦子さん
(写真中央)



子どもたちのセンサーと可能性
劇団とみかる
白方中央 田沢悦子

皆さんは、「真崎城の白百合姫」をご存じでしょうか？ 東海村には数々の民話が語り継がれています。その中の一つが「真崎城の白百合姫」です。私たち「劇団とみかる」は、平成20年11月8日に東海文化センターで開催された「国民文化祭「民話フェスティバル」」で、ミュージカル「真崎城の白百合姫」を公演しました。今回の作品は、脚本・音楽・振り付け・芝居のすべてを小学生から大人までの全員で作成しました。「全員で作成」と聞くと、「主につくったのは大人では？」と思うかもしれませんが、考案の中心は小学生から高校生でした。大人はその意見をまとめたにすぎません。私は当初、「大人がすべてのこ

とを決め、子どもたちに「から教えるのだからな」と思っていました。しかし、実際に製作に入ると、子どもたちはさまざまに提案・作成を主導的に行い、私は「大人がやらなければ、教えなければ」という先入観と、子どもたちの力を軽く見ていたことをとても恥じました。「自由に動いていいよ」と言うと、自分では考え付かないような素晴らしい演技をしてくれます。シャイな子どもも、ちょっとだけきっかけをつくってあげただけで一つでも自信がつくと、すべてのことが急激に成長します。

子どもたちは大人が考えている以上にたくさんのセンサーを張り巡らし、得た知識を組み合わせて飛躍的に成長します。大人がわざわざ「から」すべてを教える必要はないのです。子どもたちは、誰かの言ったことや行動を自ら吸収し、いつそれを使おうか、機会をうかがっているのです。ですから、大人は、「取りあえずやってみよう」と可能性を信じてやらせてみるのが重要です。もし十分な結果を得ることができなくても、「じゃあ、これを変化させてみよう」とすれば、次の可能性にまた進むことができます。子どもたちが壁に突き当たった時に、「これを変化させるとこうなるかもしれない」という一言を提案するのが、子どもたち以上の知識を持った大人の役目だと思います。

文芸とうかい

〔俳句〕

紅葉の満天星極まれる

東海 佐藤 とよ

雨の朝ココアを飲んで彼を待つ

舟川繁 伊東 幸子

雑踏に落ち葉舞いけり家路かな

舟川繁 辻本 國男

この暮れも香りたのしく蕎麦を挽く

船場 畑 耕太

日暮れても銀杏並木は明るうに

舟石川 舛井 愛子

風うずく磯辺の松の及び腰

南台 渋谷ひろし

雪の花舞い散る夜の静けさや

豊白 中島エミ子

落ち葉掃く冷えた手さすり何想ふ

外宿 西山 純一

鯉跳ねる音の響くよ刈田村

村松 松本 正勝

小春日や葉の衣脱ぐ大銀杏

村松北 小野寺紀夫

満月が黒雲に入り足速む

舟川繁 伊東 岳志

〔短歌〕

八つ頭大株になり種芋の空蟬のごと

外宿 小林美代子

黒く朽ちいる

外宿 小林美代子

視覚障の新年会にもまねや民謡を

舟川繁 工藤和一郎

歌い赤べこ求む

世界的金融危機に直面す未来の光早
求めん

照沼 佐藤 昇

そばの花今年は見ずに師走入りひざ

内宿 村上 文江

病む農夫老い悟りしか

内宿 村上 文江

豊作の柿むき終り仕上がりを楽しみ

外宿 高槌 すみ

ながら棹に吊るせる

外宿 高槌 すみ

風にゆれそよぐすすきの上空の雲の

東海 片野 紀夫

されまに弦月の見ゆ

船場 舛井庫之助

冬の日増しに赤む

船場 舛井庫之助

山畑に止めし車に一匹の枯れ葉色し

南台 根本内俊男

た飛蝗の止まる

南台 根本内俊男

昨夜みし夢消えさらすあつきまま届

須和間 柴山 靖子

みて君の靴を磨きぬ

須和間 柴山 靖子

廃屋の壁いちめんこに這い伸びて夕日

緑ヶ丘 佐藤 正

をかえし烏瓜ひかる

舟石川 小川志つ江

梅を主に福寿草と南天を添え丑年の

盆栽作る

はらからと集ひて見たる青葉城寡黙

村松 桜井 秀子

な義弟の説明をきく

村松 桜井 秀子

日本原子力研究開発機構美術部展

1月25日(日)～31日(土)



原子力機構の職員やその家族、関連企業職員、OBなどが心豊かな人生を送るため制作した書や絵画、工芸など、さまざまな美術作品を展示します。

企画展「関南沖展～墨による造形」

1月7日(水)～24日(土)



書家であり、茨城大学教授でもあった故関南沖さんの遺作展を開催します。関さんの書は自由奔放で、書体の枠にとらわれず、力強い造形作品になっています。造形芸術としてのユニークな書の世界をじっくりとご堪能ください。

■開館時間 午前10時～午後7時 ※各展示の最終日は、関南沖展が午後2時まで、日本原子力研究開発機構美術部展・かな書道茨城藍筍会展・アートロード展(2月14日・21日)が午後3時までです。
■場所 JR東海駅(駅舎2階)
■問合せ 東海ステーションギャラリー(☎287-3680)

STATION GALLERY

第21回かな書道 茨城藍筍会展

2月1日(日)～7日(土)



故今関脩竹さん(日展評議員)が創立し、清水透石さんを会長とした「藍筍会」所属の県内在住者による書展です。平安仮名を基礎とし、大字で表現した「かな書」の多彩な表現をお楽しみください。

第21回アートロード展

2月8日(日)～21日(土)



“暮らしの中の美術館”をテーマに、村内の美術愛好家を中心となって街中が展示会場に。前半(2月8日～14日)に絵画・彫刻・工芸・華道を、後半(2月15日～21日)に書・写真の展示を行います。

1月の納付

納期限	平成21年2月2日(月)		
	村・県民税		第4期分
	国民健康保険税		第7期分
納付種別	後期高齢者医療保険料		第7期分
	坏土地改良区特別賦課金		
	農業共済掛金		

人口と世帯数

平成20年12月1日現在			
			前月比
世帯数	13,808	世帯	+18
総人口	36,566	人	+31
男	18,378	人	+17
女	18,188	人	+14

お知らせ・ピックアップ

いんぽお めーしょん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

東海村臨時職員 (保育士・幼稚園講師等)を募集

●雇用期間 4月からおおむね1年間

職種	要件・募集人員・勤務時間・賃金
保育所保育士	保育士の資格を有する方(13人程度) 週40時間程度の勤務 時給1,070円～1,110円
すこやかハウス 保育士(主に在宅親子 の支援を行います)	保育士の資格を有する方(3人) 週30時間の勤務 時給1,070円～1,110円
保育所調理手	調理師の資格を有する方(3人) 週20時間または週30時間の勤務 時給860円～910円
幼稚園講師	幼稚園教諭の資格を有する方(12人程度) 週40時間程度の勤務 時給1,070円～1,110円
幼稚園介助員	幼稚園教諭の資格を有する方(12人程度) 週27時間の勤務 時給1,070円～1,110円

●選考方法 保育士は面接試験と800字程度の自筆作文の事前提出(課題=「私が目指す保育士像」)、その他の職種は面接試験のみ。

●試験日 2月14日(土)に東海村役場行政棟で面接試験を行います。

●その他 ①通勤手当は別途支給されます。②社会保険(健康保険・厚生年金保険など)と雇用保険に加入します。※保育所調理手の週20時間勤務と幼稚園介助員は雇用保険のみの加入。③休暇は、土・日曜日と祝日が基本となります(年次休暇あり)。

●申し込み・問合せ 1月30日(金)まで(土・日曜日と祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に①履歴書(市販の用紙に顔写真を添付したもの)②受験資格に必要な資格免許の写し③作文(該当者のみ)——をお持ちの上、総務部人事課人事担当(内線1323)へ申し込みください。※職種の重複応募はできません。

募集

(財)東海村文化・スポーツ振興財団臨時職員募集

■雇用区分 総合体育館一般事務補助・1人…主に東海村体育協会・東海村総合型地域スポーツクラブ運営事務に従事します。週5日勤務(土・日曜日と祝日の勤務あり)。勤務時間は午前8時30分から午後5時15分まで(夜間勤務あり)。東海村テニスコート管理運営業務・6人…定期休日を除く毎日の勤務を6人で割り振ります(土・日曜日と祝日も勤務あり)。勤務時間は午前8時30分から午後5時15分までと、午後5時から9時まで。

■雇用期間 4月1日～平成22年3月31日(1年間)

■受験資格 総合体育館一般事務補助…①高等学校卒業以上(年齢不問・学生不可)②村内在住または通勤が可能③普通自動車を運転可能な免許を所持④基本的なパソコン操作が可能——のすべてを満たす方。東海村テニスコート管理運営業務…①高等学校卒業以上(年齢不問・学生不可)②村内在住または通勤が可能——の両方を満たす方。

■試験日時 2月15日(日) 午前9時から

■試験会場 東海文化センター

■選考方法 履歴書による書類審査、作文試験(総合体育館一般事務補助のみ)、面接など

■賃金等 総合体育館一般事務補助…時給870円～1,070円 東海村テニスコート管理運営業務…時給870円。※通勤手当別途支給。社会保険(健康保険・厚生年金保険など)と雇用保険に加入します。なお、東海村テニスコート管理運営業務は、雇用保険のみの加入となります。

■申し込み 1月15日(木)から2月5日(木)まで(月曜日を除く)の午前9時～午後5時に①履歴書(写真貼付は不要)②顔写真1枚(4×3.5cm程度)③印鑑④資格免許があればその写し——をご用意の上、東海文化センター窓口備え付けの申込書に記入し、申し込みください。※試験案内は1月10日(土)から東海文化センターで配布します。

■問合せ 財団法人東海村文化・スポーツ振興財団(東海文化センター内 ☎282-8511)

平成20年度「ほしいも品評会」一般展示

茨城ほしいも対策協議会では、干しいもの一層の品質向上と産地発展を図るため、「ほしいも品評会」を開催します。この品評会は、協議会の三ツ星認定を受けた農家が生産した干しいものを対象に、糖度測定や味・色・形などの審査を行い、表彰するもので、試食コーナーなどの用意もありますので、お気軽にご来場ください。

- 日 時 1月22日(木)…午後1時～4時、
1月23日(金)…午前9時～正午
- 場 所 ひたちなか市役所・議事堂棟(ひたちなか市東石川2-10-1)
- 問 合 せ 茨城ほしいも対策協議会東海支部
(経済環境部経済課内 ☎282-1711 内線1436)

1月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
期日	病医院名	電話番号
11日(日)	武藤小児クリニック	282-7722
12日(月)	茨城東病院	282-1151
18日(日)	東海クリニック	283-1711
25日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
救急医療機関をお探しのときは…		電話番号
茨城県救急医療情報コントロールセンター (毎日・24時間対応)		241-4199
茨城子ども救急電話相談(毎日・午後6時30分～10時30分)		電話番号
		254-9900
電話番号	#8000 (プッシュ回線用加入電話、携帯電話 NTTDoCoMo・KDDI・SoftBank)	

東海村社会福祉協議会職員(正職員)募集

東海村社会福祉協議会では、4月1日より勤務できる職員(正職員)を2人程度募集します。

- 雇用区分 一般事務と地域福祉推進に関する業務
- 受験資格 東海村または近隣市町村に居住でき、通勤可能であり、①昭和41年4月2日以降に生まれの方②社会福祉士として登録済みか社会福祉士国家試験に合格された方、または社会福祉士国家試験の受験資格を有する方(受験資格取得見込みの方を含む)③普通自動車を運転可能な免許を有する方——をすべて満たしている方
- 試験日と選考内容 1次試験…2月15日(日)・筆記試験(教養・専門試験)と職場適応性検査 2次試験…3月2日(月)・作文試験と面接 ※2次試験は1次試験合格者の方のみ行います。
- 申し込み・問合せ 申し込みに必要な書類一式を東海村社会福祉協議会で受け取り(郵送は行いません)、2月4日(水)までの午前8時30分～午後5時15分まで(土・日曜日と祝日を除く)に①願書②顔写真を添付した所定の履歴書③受験資格が証明できるもの——を東海村社会福祉協議会(☎282-2804)へお持ちください。

東海村社会福祉協議会職員(臨時職員等)募集

東海村社会福祉協議会では、4月1日から平成22年3月31日までの1年間勤務できる職員(臨時職員・常勤嘱託職員・パートタイム職員)を募集します(パートタイム職員のオペレーターは3月5日採用予定)。

- 雇用区分 ◆一般事務補助A(臨時職員・5人程度)…事務局やボランティア市民活動センターにおいて事務補助業務に従事します。一般事務補助B(臨時職員・2人程度)…高齢者センターにおいて事務補助業務に従事します。※いずれも週40時間勤務。時給1,070円。パソコン操作(Word・Excel等)ができ、普通自動車を運転可能な免許を有する方。◆児童厚生員(常勤嘱託職員・1人程度)…児童センターで指導・事務等に従事します。週40時間勤務。時給1,070円。幼稚園・小学校・中学校教諭の免許または保育士の資格を有する方で普通自動車を運転可能な免許を有する方。◆生活支援員(臨時職員・3人程度)…週40時間勤務。生活支援員(パートタイム職員・1人程度)…週16時間程度の勤務。いずれも障害者センター通所者の生活介護、自立訓練支援業務に従事します。時給1,070円。普通自動車を運転可能な免許を有する方。◆オペレーター(パートタイム職員・2人程度)…「東海村デマンドタクシー(あいのりくん)」の予約・配車・登録等の業務に従事します。週20時間程度の勤務。時給870円。パソコン操作(Word・Excel等)ができる方。
- 試験日 2月12日(木)に面接試験を行います(課題作文を事前提出)。
- その他 ①通勤手当は別途支給されます。②臨時職員・常勤嘱託職員は社会保険(健康保険・厚生年金保険など)と雇用保険に加入します。③休暇は原則として土・日曜日と祝日です(一般事務補助Bと児童厚生員は日曜日と祝日)。
- 申し込み・問合せ 2月4日(水)まで(土・日曜日と祝日を除く)の午前8時30分～午後5時15分に①願書(申込書)②履歴書(所定用紙で顔写真を添付したもの)③受験資格が証明できるもの④作文——をお持ちの上、東海村社会福祉協議会(☎282-2804)へ申し込みください。

催し物(講演会ほか)

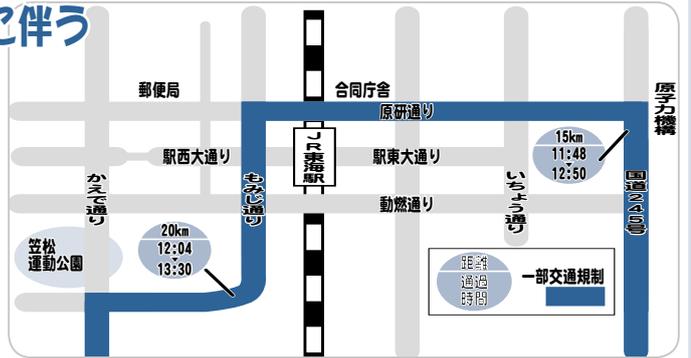
育児支援「親子絵本読み聞かせ講座」開催

- 日 時 2月5日(木) 午前10時～11時
- 場 所 サンフラワーこどもの森保育園
- 対 象 1歳から就学前の乳幼児とその保護者
- 定 員 30組(先着順)
- 講 師 「たんぼぼの会」
- 参加費 無料
- 申し込み・問合せ 1月20日(火)以降の午前10時から午後3時の間に、サンフラワーこどもの森保育園(☎287-7111)へ申し込みください。

第57回勝田全国マラソン大会に伴う 交通規制にご協力ください！

勝田全国マラソン大会の開催に伴い、国道245号などの一部の道路を出場選手が通過します。この時間帯は、交通規制が実施されますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 日時 1月25日(日) 午前11時スタート
- 問合せ 勝田全国マラソン大会事務局
(ひたちなか市教育委員会生涯学習課内
☎262-5615)



一人親家庭のお子さんに入学祝い品を差し上げます

茨城県母子寡婦福祉連合会では、4月に小学校へ入学する一人親家庭(母子家庭・父子家庭)の子どもを対象に、入学祝い品(学用品類)を差し上げます。

- 申し込み 1月30日(金)までに、福祉部社会福祉課福祉総務担当(内線1183)へ申し込みください。
- 問合せ 茨城県母子寡婦福祉連合会(☎221-7505)

高齢者保健福祉計画等(素案)への意見募集

村では、平成21年度から23年度までの第4期「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」策定のため、学識経験者や一般公募の村民の方々などによる「東海村高齢者福祉計画推進委員会」を設置し、計画の素案をまとめましたので、これらを公表し、多くの皆さんからの意見を募集します。

- 募集期間 1月23日(金)～2月16日(月)
- 閲覧場所 介護福祉課(役場行政棟1階)、総合福祉センター「絆」、各コミュニティセンター、村公式ホームページ
- 申し込み・問合せ 福祉部介護福祉課高齢支援担当(内線1162) ※寄せられたご意見等は、各計画に反映させるとともに、意見の概要などは匿名で後日公表の予定です。

入札参加資格審査の申請受け付け

平成21年度・22年度東海村発注の物品調達、役務の提供等の入札参加資格審査申請についての受け付けを行います。

- 受付期間 2月2日(月)～20日(金) ※土・日曜日と祝日を除く
- 受付方法 村内に本社・営業所または支店などを有する場合は、役場で受け付けます(受付場所＝役場議会議棟1階101会議室)。それ以外の場合は郵送(宅配便可)での受け付けとなります。
- 問合せ 企画政策部財務課管財担当(内線1385) ※詳細については、村公式ホームページをご覧ください。

「茶道教室」開催のお知らせ

茶道初心者の方を募集します。いすに座って行いますので、正座の苦手な方でも参加できます。

- 期 日 2月4日(水)・18日(水)・25日(水)・3月4日(水)・11日(水) (全5回)
- 時 間 午前10時～正午
- 場 所 総合福祉センター「絆」
- 対 象 者 村内在住で65歳以上の方
- 定 員 先着12人
- 参加費 1,000円/人(初回に徴収します)
- 申し込み・問合せ 1月13日(火)から20日(火)までに高齢者センター(☎282-4300)へお越しの上、申し込みください。※電話での申し込みは不可

エトセトラ

教育ローンと利子補給制度

茨城県と県内市町村、中央労働金庫の出資によって設立されている(財)茨城県勤労者育英基金では、労働金庫の低利な教育ローンの利用者に対し、一定の利子補給を行っています。

ろうきんの教育ローン

- 融資額 最高500万円(中央労働金庫に出資のある団体会員の方は1,000万円まで)の一括融資または分割融資
- 金利 年1.9%～2.4%(固定金利型特別金利。利率は平成20年12月25日現在) ※保証料として0.7%～1.2%の個人負担が別途必要となります。
- 返済期間 15年以内(在学中の元金返済据え置き可能)
- 保証 茨城県労働者信用基金協会の保証

育英基金の利子補給制度

子どもの在学中(最長4年)、子ども1人当たり100万円(1世帯当たり300万円)までの融資に対し、年1%の利子補給を受けることが可能です。

申し込み・問合せ

(財)茨城県勤労者育英基金(☎231-0235)、中央労働金庫大みか支店(☎0294-53-1818)



舟石川保育所 ● 佐藤 圭吾 くん

雪遊び

お姉ちゃんと一緒に、雪だるまを作っている様子を和紙で作った長靴に描いてくれた圭吾くん(6歳)。「雪遊び大好き。サンタさんからプレゼントが届くといいなあ」と、にっこり笑みを浮かべながら話してくれました。

ぼくの夢 Dream-94 わたしの夢



夢は…。 “ダンサー”

石神小学校6年 ● 北辻乃依

私の夢は、一流ダンサーになることです。私はクラシックバレエを4歳の時から習っています。今はヨーロッパ出身の先生のレッスンを受けています。先生が学んできたバレエ学校は、クラシックバレエだけでなく、モダンやコンテンポラリー、ジャズダンスなど、いろいろなダンスを学ぶことができます。だから私も、その学校で学んで、自分にあったダンスの一流ダンサーになりたいです。

そのためには、一回一回のレッスンを大切にすることでなく、さまざまな経験を積み重ねれば表現する力や人としての強さが持てないと思います。バレエやダンスだけではなく、いろいろなことに興味を持ち、チャレンジして自分自身を磨きたいです。そして本物のダンサーになれるよう、あきらめずに努力していきます。

成人の日
インタビュアー

表紙の「ひと」
すげわ ゆい
助川結香さん

今年、成人される皆さん、おめでとうございます。

「広報とうかい」では、新・成人を祝い励ます企画として、1月10日(土)に東海文化センターで開催の「2009 東海村成人の集い」で実行委員長を務める助川結香さんにインタビューしました。

自己紹介をお願いします。

東海村に生まれ、7年間千葉県で過ごし、東海村へ戻ってきました。舟石川小学校、東海南中学校に通い、中学卒業後は犬の専門学校へ行きました。そこでは主に犬のしつけについて勉強し、家庭内訓練士のライセンスを取りました。今は犬と触れ合えるお店で働き、犬が障害物競争をするドッグスポーツの大会に出ています。

この20年間で印象に残っていることをお聞かせください。

多くの人に出会ったこと。あと、専門学校の海外研修でロサンゼルスに行きドッグシヨウを見たこと、本場のディズニールランドに行って絶叫マシンを克服できたこと。

と。それと龍(愛犬)が家にやってきたことです。

成人を迎えて、どのような感想をお持ちですか？

大人の仲間入りですね。でも、いろいろなことに対して責任が強く求められるので、真剣に考えることが多くなりました。非常識な大人だけにはなりたくないです。

家族へ一言

何かと迷惑を掛けました。でも、真剣になっていつも話を聞いてくれて、一緒に悩んだり、笑ったり、泣いたり…。感謝しています。これからもよろしくお願いします。

将来の夢は？

これから何年後になるかわかりませんが、室内で遊べる広いドッグランを経営したいです。犬の広場やカフェがあって、犬をトリミング(覆っている毛を整える)するところもあって…。そこで、愛犬や犬好きの友だちと一緒に時間を過ごしたいです。

今後の活躍を期待しています。ありがとうございました。